

2022年3月31日

各位

大同生命保険株式会社  
代表取締役社長 北原 睦朗

## 三井不動産株式会社向けサステナビリティ・リンク・ローンへの融資実行 ～ 持続可能な経済活動の促進・支援を目指して～

T&D保険グループの大同生命保険株式会社（社長：北原 睦朗）は、三井不動産株式会社（社長：菰田 正信）を借入人とするサステナビリティ・リンク・ローン（以下「SLL」）への融資を実行いたしました。

SLLは、借り手の経営戦略に基づくサステナビリティ・パフォーマンス目標（以下「SPTS」）の達成状況によって、金利などの借入条件が変動する仕組みとなっており、借入企業の取組み・行動変容を後押しすることで、環境・社会面において持続可能な経済活動を促進・支援する金融商品です。

三井不動産グループは、「共生・共存」「多様な価値観の連繋」「持続可能な社会の実現」という理念のもと、「人と地球がともに豊かになる社会」を目指し、ESG経営を推進しています。SPTSである温室効果ガス排出量削減は、同グループの長期経営方針である「VISION2025」で掲げる「6つの重点取組項目」のうち「環境負荷の低減とエネルギーの創出」に合致するものとなっています。

### <本SLLの概要>

借 入 人	三井不動産株式会社
S P T s	借入人グループ全体の温室効果ガス排出量（Scope1+Scope2）を2030年度までに46.2%削減（2019年度比）

なお、本SLLは、三井不動産が2022年1月11日に策定したSLLフレームワークを活用した取り組みです。本フレームワークは、株式会社格付投資情報センター（R&I）から、ローン・マーケット・アソシエーション等が定めたSLL原則、環境省によるグリーンローンおよびSLLガイドラインへの準拠性と設定した目標の合理性について第三者意見<sup>\*</sup>を取得しています。

※参照：株式会社格付投資情報センター（R&I）による評価レポート  
<https://www.r-i.co.jp/rating/esg/sustainabilityfinance/index.html>

当社は、「T&D保険グループESG投資方針」に基づき、事業活動を通じて社会的課題の解決に貢献する取組みを進めてまいりました。資産運用においては、「責任投資原則（PRI）」や、国連が提唱した持続可能な開発目標である「SDGs」などを踏まえ、環境・社会・企業統治の課題を考慮する「ESG投資」に積極化しており、本件はこうした取組みの一つです。

引き続き、責任ある機関投資家としての責務を果たし、持続可能な社会の形成に貢献できるよう努めてまいります。

以上